

令和4年度第2回青梅市スポーツ振興審議会次第
会 議 録

日 時

令和4年9月14日（水） 午後3時30分～午後4時35分

会 場

青梅市役所3階教育委員会会議室

出席者

（委 員）

杉山委員、神尾委員、渡辺委員、武藤委員、神野委員

市川委員、山本委員、小花委員、森田委員

（事務局）

星野部長、吉崎課長、野島係長、益子主任

欠席者 なし

傍聴者 なし

進 行：吉崎スポーツ推進課長

1 あいさつ

森田会長

2 諮問について

・部長が会長席に赴き、諮問書を読み上げ会長へ渡す。

3 報告事項

(1) 市営プールの開場結果について（資料1）

(2) スポーツDAY青梅2022について（資料2）

(3) オクトーバー・ラン&ウォーク2022について（資料3）

(4) 第84回奥多摩溪谷駅伝競走大会の開催について（資料4）

(5) 第55回記念青梅マラソン大会の実施について(資料5)

・事務局による資料の説明(1)～(5)一括説明

(委員)

プールの人数制限について何人を最大としたのか。概要の説明を求めたい。

(事務局)

東原公園水泳場については一度の最大入場者数を455人とし、わかぐさ公園こどもプールについては総数を132人として運営した。

(委員)

青梅マラソンの参加費について、コロナが解決した後は下げるのか。もしそうでないのであれば、表現方法を上手くすることで上げる際も納得してもらえる。

(事務局)

青梅マラソン大会については、報知新聞社、青梅市陸上競技協会と実行委員形式で進めている。来年度以降の方向性は決まっていないが、今回はコロナ対策として人数を減らすため、参加費を上げることとなった。参加費、参加人数の問題は認識している。

(委員)

青梅マラソン大会以外のチラシもきれいになった。反応はどうか。

(事務局)

スポーツレクリエーションフェスティバルに代わるスポーツDAYは新しいイベントのため、宣伝のために費用を掛けた。反応については期待をしているところである。

4 諮問事項

青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく表彰について

・事務局から説明

(委員)

青梅市スポーツ功労賞の団体の推薦については、総合的に判断して推薦するという理解でよろしいか。今後も団体の推薦については基準だけでなく、個別に総合的に判断するという事か。

(事務局)

そのとおりであり、総合的に判断し提出した。

(委員)

本来自治体がすべき整備等を自分たちの利益のためではなく、団体が代わって行ったことは評価することが妥当であると考えられる。

- ・ 諮問事項すべて承認

5 その他

(事務局)

第1回審議会に意見があった、対象基準について条文を基に説明。市民以外の活動拠点の基準の説明。表彰式についての案内。

(委員)

表彰・援助対象基準の加盟団体と準加盟団体を整理した方がいい。また、団体競技を行っている対象者の推薦は試合に出ていない場合もあり得る。試合に出ているか確認できる文章を提出してもらうよう体裁を整えた方がよい。

- ・ 次回審議会は1月頃を予定。

閉会

※ 参考資料

青梅市スポーツ振興審議会条例（参考1）

青梅市スポーツ振興基金条例（参考2）

青梅市スポーツ振興基金条例施行規則（参考3）

青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく表彰基準（参考4）

青梅市スポーツ振興審議会の会議の公開に関する取扱要綱（参考5）